

さみしくないよ



かいご えほん
【介護絵本】

み と かいご へん
— 看取り介護編 —

しゃかいふく し ほうじん
社会福祉法人

おおさか ふ しゃかいふく し じ ぎょうだん
大阪府社会福祉事業団

こころあた ^{しゅってん}
【心温まるエピソード出典】

おうえすじえいけんしゅう ^{けんきゅう}
OSJ研修・研究センター

あさの ^{はるこ}
浅野 治子

^{いちばんつた}
【エピソードで一番伝えたかったこと】

^{ふくし} ^{かいご} ^{しよくいん} ^{しごと} ^{とお} ^{ひと}
福祉・介護にたずさわる職員として、（仕事を通して人
^{そんげん} ^{しんし} ^む ^あ ^{すば} ^{さいご} ^{さいご}
の尊厳に真摯に向き合える素晴らしさと最後（最期）の
^{とき} ^{きょうゆう} ^{いただ} ^あ ^{がた} ^{むづか} ^{かん}
「時」を共有させて頂ける有り難さと難しさを感じてい
ます。

^{さいご} ^{むか} ^{とき} ^{じぶん} ^{かんが}
最期を迎える時、自分だったらどうだろう？と考えて
います。

この本は、特別養護老人ホームで一生を終えたかたとのエピソードをもとにしています。



私たちは、特別養護老人ホーム（※）で

働く介護士です。

仕事内容は、

身の回りのお世話が必要な

お年よりのお手伝いをする事です。



お年よりの中には、

そこで最期の時を迎えることを

希望する方もいます。

私たちも、そのような

ご希望があつたときは、

心を込めてお世話をします。

(※) 特別養護老人ホームとは、
が困難な方が食事、入浴、
施設です。
自宅で自立生活や介護を受けること
トイレなどの介護を受けて生活する



季節は春でした。

普通のごはんでは食べにくくなり、

細かくぎざんだり、食べやすい工夫を

していましたが、

それでも

『もう 食べられへん』と

残すことが増えてきました。

担当の医師からは、



そのひとは、

102歳の女性でした。

さんげつ
三か月のいのちと

い
言われました。

そこで、わたし
私たち介護士は

そのひとのご家族もまじえて、

今後のお世話の方法に

ついて話し合い、

旅立ち計画（※）を作りました。



（※）旅立ち計画とは、日々のサービス計画とは異なり、最後の時を少しでも安心して苦痛なく過ごしていただくための計画です。

旅立ち計画で決まったことです。

お部屋は個室に変わります。

毎日一時間おき、

介護士がお部屋を訪問します。

なにを食べてもよいです。

お風呂にも入ります。



看護師は毎日、
医師は定期的に

家族もできるだけ
好きな食べ物を持って、
会いに来ます。



夏なつになりました。

この夏なつで、

いよいよお別わかれなのかな・・・と

沈しずみがちな気持きもちを奮ふるい立たたせて

少すこしでも気持きもちをおだやかに、



楽しかった思い出が

残るようにと願い、私たちは、

お部屋を訪問すると必ず、

ゆっくりと笑顔で

話しかけるようにしていました。



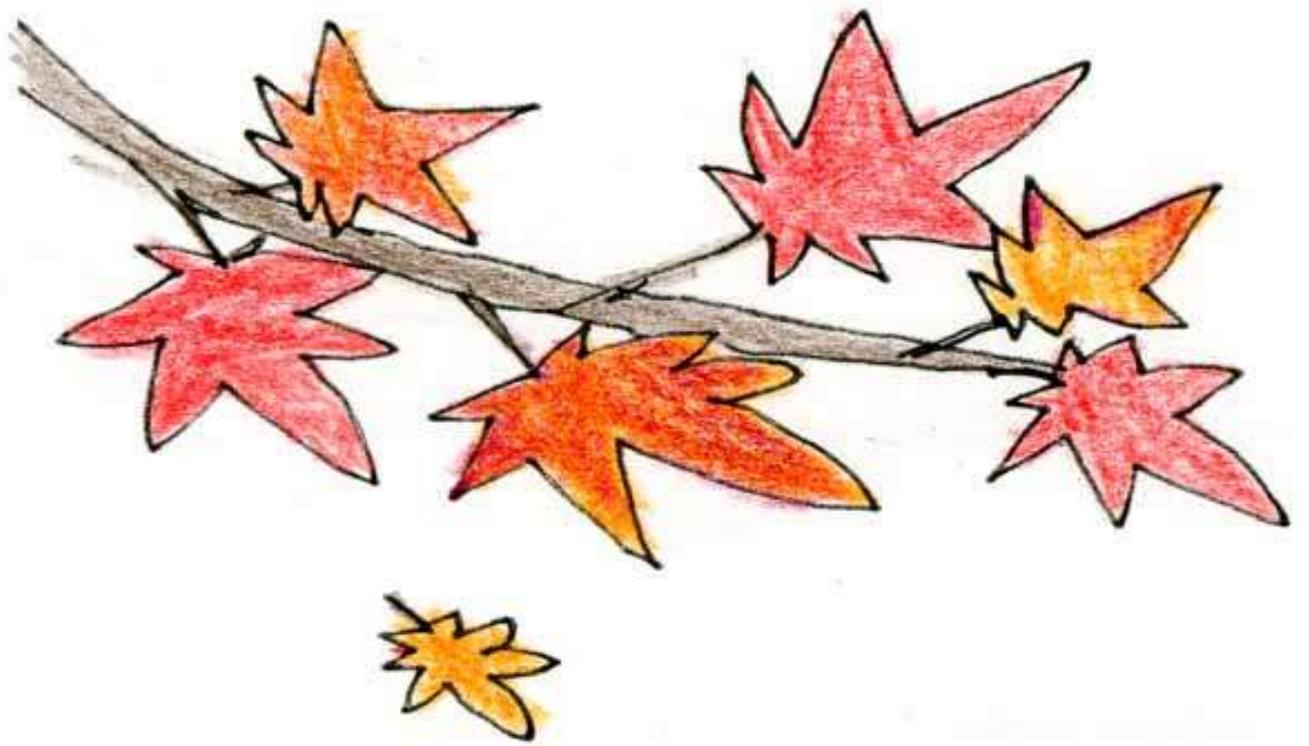
秋あきになりました。

不思議ふしぎなことに、

少しすこ食欲しょくほくもみられるようになり

大好きだいすな巻まきずしを『おいしい』と
食たべました。





私^{わたし}たちはとてもうれし〜

みんな^{みんな}で喜び^{よろこ}びました。

冬ふゆになりました。

だんだんベッドで寝たままの日ひが増ふえてきました。

ごはんも喉のどを通とおらないみたいです。

そんな、ある日ひのことです。

お部屋へやにいくと、目めを開あけて

にっこりしていたので、

話はなしかけてみました。



ごじもの頃のじゅう、

何なにをして遊あそんだのか、

好すきな食たべ物もののこと、

学がっこう校おともの思おもい出で……



ポツリ、ポツリと思い出すように、

三人きょうだいの長女で、

お母さんの手伝いをよくしたこと。

女学校へは、袴をはいて

当時はとても珍しかった自転車に乗り

通ったこと。

庭に大きな柿の木があり、

たくさんの実がなったこと。

先の割れた長い棒で柿の実をとったこと。



その実を手でこすり、かぶりついたこと。

鳥のために一番上の実は

取らずに残していたこと・・・

柿がとてもおいしかったことを思いだし、



『あく柿が食べたい』と話しました。



少しでも、好きなものを食べて

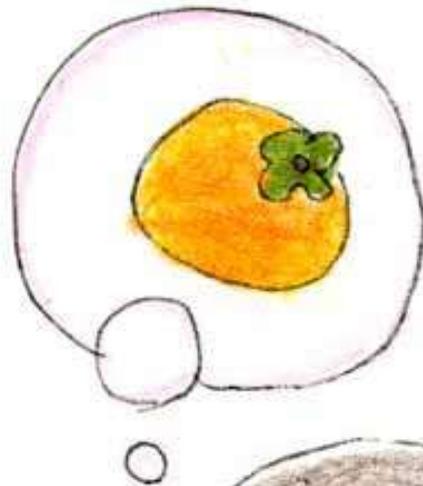
力をつけてほしいと願っていた私たちは、

さっそく栄養士（※）に

相談に行きました。

栄養士は、「わかった。

なんとかしましょうー!」と



やわらかそうな柿を食べやすく切って

次の日のお昼ごはんに用意してくれました。

「たべたいと言われていた柿です」

と、テーブルにおくど、

『おいしいわ』と

柿はぜんぶたべ、

柿の思い出話を

また聞かせてくれました。



(※) 栄養士・食事のメニュー作りや栄養管理、栄養指導を行う専門職です。

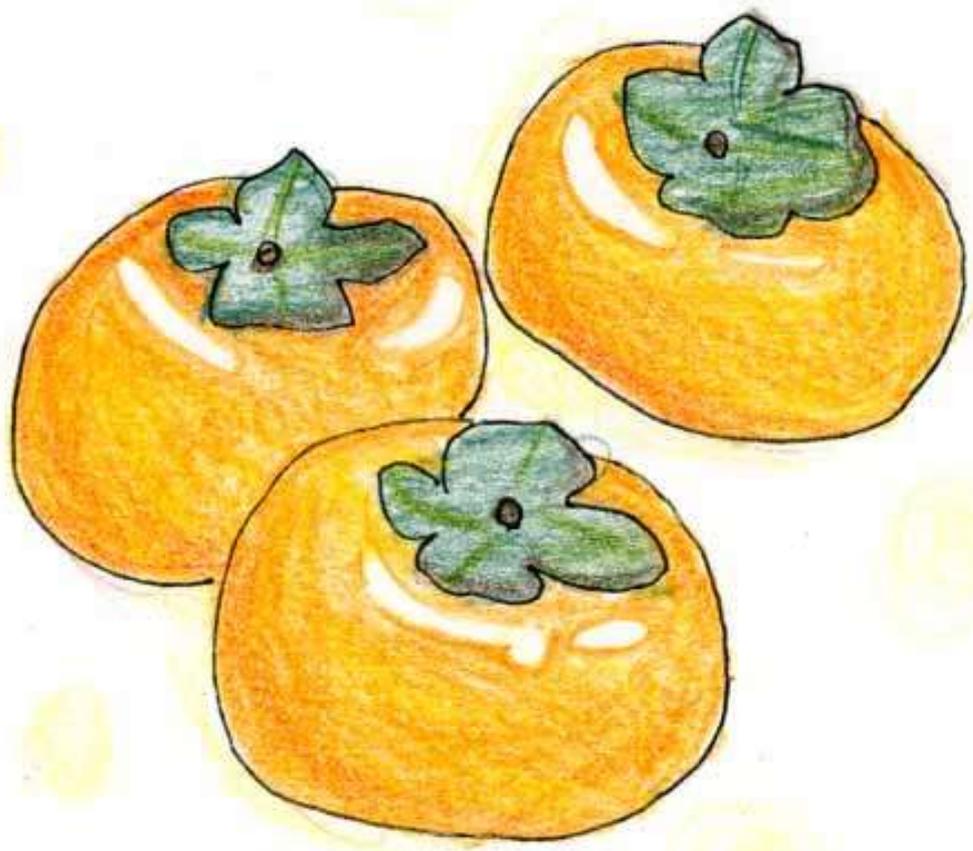
寒さむくなってきたので、次つぎの柿かきは、
用よう意いしたくても、見みつけられることが

できませんでした。

とぎとぎ、『柿かきはあいしかったなあ』と
言いっていました、

こどもの頃ころの柿かきの味あじなのか、

この前まえの柿かきのことなのか……





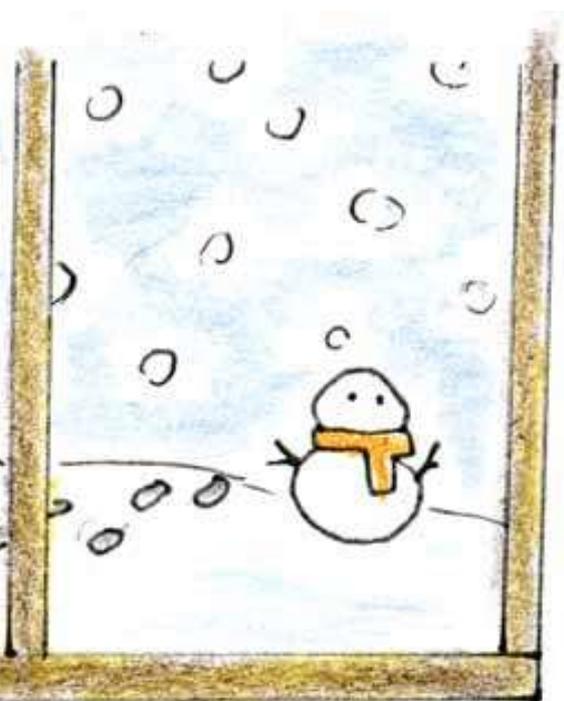
と、わたし私かいごしたちはな介あ護士は話し合いました。

『おいしい』とよろこんでもらえた。

しあわ幸せなきも気持ちになってもらえた。

かき柿をあじ味わってもらえて、よ良かった。

すこ少しでも、きも気持ちによりそえたことがよ良かった。



小学校が冬休みになり、息子家族が朝からひ孫を連れて会いにきました。

みんなの顔を見て、にっこりしていたのですが、

昼過ぎから急に息が荒くなり……

ご家族と、多くの職員に見守られながら、旅立たれました。

私たちは、悲しいお別れの時を迎えました。



それから数日後、担当の介護士が、夢を見ました。

天国でとても楽しそうに

『みなさん、ありがとう。』

わたしは、人生の最後に老人ホームで暮らし、
多くの介護士さんにお世話になりました。



わたしの気持ちに

よじそじよじよ、

わたしが穏やかで、

安心できるように、

いつもわたしの

身になって考えて、

手伝ってくれて、

とても感謝しています。

こうして天国に行けるようになったのです。



感謝の気持ちに

満たされたわたしは、



みなさん、ほんとうにありがとうございます。

わたしは、とっても幸せでした。

いつも天国てんごくからみなさんの

幸せしあわせをねがっています。





しゃかいふくし ほうじん
社会福祉法人

おおさか ふ しゃかいふくし じ ぎょうだん
大阪府社会福祉事業団

【ロゴマーク】

わたしたちは、『よりそう^{おも}想い つながる^{こころ}心』

ほうじん り ねん こうれいしゃ しょう しゃ ふくし
の法人理念のもと、高齢者や障がい者への福祉

じぎょう と く
事業に取り組んでいます。

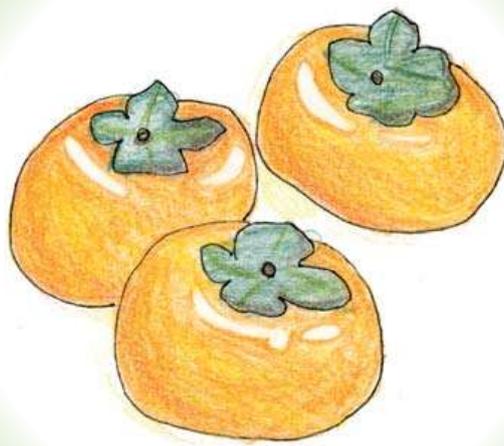


え おりた あ かり
絵：折田 明香里

ぶん あさの はる こ
文：浅野 治子

アドバイザー：ばい か じょ し だいがく しんり がくぶ こども がっか
梅花女子大学 心理こども学部 こども学科

きょうじゆ こう そ か べ ひでゆき
教授 香曾我部 秀幸



平成28年度

大阪府介護人材育成確保支援事業 補助金事業